

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 28 年 7 月 14 日 (2016.7.14)

【公表番号】特表 2015-521422 (P2015-521422A)
 【公表日】平成 27 年 7 月 27 日 (2015.7.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-047
 【出願番号】特願 2015-511552 (P2015-511552)
 【国際特許分類】

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 M 1/00 R

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 5 月 23 日 (2016.5.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

呼中の音声メモを生成するための方法であって、

ターゲットワイヤレス加入者デバイスとの呼を行うステップであって、前記呼はデータパケットのデータストリームを含むステップと、

前記ターゲットワイヤレス加入者デバイスに、前記呼の一部分の記録を開始するための指示を送信するステップと、

前記ターゲットワイヤレス加入者デバイスに、前記呼の前記一部分の記録を停止するための指示を送信するステップであって、前記呼の一部分の記録を開始するための前記指示は、前記ターゲットワイヤレス加入者デバイスにおいて記録されるべき前記データストリームの各データパケットへの記録マーカの挿入を含み、前記呼の前記一部分の記録を停止するための前記指示は、前記呼の前記データパケットへの前記記録マーカの挿入をやめることを含むステップとを備える方法。

【請求項 2】

前記呼の前記一部分が記録されるべきであると判断するステップをさらに備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記判断するステップが、

前記呼のためのデータストリームによって送信されている加入者の音声のイントネーションが変化したか否かを判断するステップと、

前記イントネーションの変化が、発せられている言葉またはこれから発せられる言葉を記録すべきであることを指示するか否かを判断するステップとを備える、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記判断するステップが、

前記呼を送信するデータストリームの複数のデータパケットをバッファリングするステップと、

バッファリングされた前記複数のデータパケット中の構成物または該構成物の開始点を検出するステップと

を備える、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記検出するステップが、

前記データストリームのバッファリングされた前記データパケットを、テキストに変換するステップを備え、

前記検出するステップが、前記テキスト中の前記構成物または前記構成物の前記開始点を検出するステップである、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記構成物が、名前、電話番号、住所、関心地点、URL、項目のリスト、または道案内のうちの少なくとも 1 つを含む、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

サーバが、前記呼の前記一部分の記録を開始および停止するための、前記ターゲットワイヤレス加入者デバイスに送信された前記指示に基づいて、前記呼の前記一部分を記録する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

呼中の音声メモを生成するための方法であって、

発信元ワイヤレス加入者デバイスとの呼を行うステップであって、前記呼はデータパケットのデータストリームを含むステップと、

前記発信元ワイヤレス加入者デバイスから、前記呼の一部分の記録を開始するための指示を受信するステップと、

前記発信元ワイヤレス加入者デバイスから、前記呼の前記一部分の記録を停止するための指示を受信するステップであって、前記呼の一部分の記録を開始するための前記指示は、前記発信元ワイヤレス加入者デバイスによって、ターゲットワイヤレス加入者デバイスにおいて記録されるべき前記データストリームの各データパケットに挿入された記録マーカを含み、前記呼の前記一部分の記録を停止するための前記指示は、前記呼の前記データパケットへの前記記録マーカの挿入の中止を含むステップとを備える方法。

【請求項 9】

前記呼の記録された前記一部分を処理して、前記呼の記録された前記一部分が少なくとも 1 つの構成物を含んでいるか否かを判断するステップと、

前記少なくとも 1 つの構成物を処理するステップとをさらに備える、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

サーバが記録されるべき情報のソースである前記発信元ワイヤレス加入者デバイスとターゲットワイヤレス加入者デバイスとの間で前記呼を仲介することによって実行される、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 11】

ターゲットワイヤレス加入者デバイスが前記発信元ワイヤレス加入者デバイスと通信を行うことによって実行される、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 12】

呼中の音声メモを生成するための装置であって、

ターゲットワイヤレス加入者デバイスとの呼を行うように構成された論理手段であって、前記呼はデータパケットのデータストリームを含む論理手段と、

前記ターゲットワイヤレス加入者デバイスに、前記呼の一部分の記録を開始するための指示を送信するように構成された論理手段と、

前記ターゲットワイヤレス加入者デバイスに、前記呼の前記一部分の記録を停止するための指示を送信するように構成された論理手段であって、前記呼の一部分の記録を開始するための前記指示は、前記ターゲットワイヤレス加入者デバイスにおいて記録されるべき前記データストリームの各データパケットへの記録マーカの挿入を含み、前記呼の前記一部分の記録を停止するための前記指示は、前記呼の前記データパケットへの前記記録マ

ーカーの挿入をやめることを含む、論理手段とを備える装置。

【請求項 13】

呼中の音声メモを生成するための装置であって、

発信元ワイヤレス加入者デバイスとの呼を行うように構成された論理手段と、

前記発信元ワイヤレス加入者デバイスから、前記呼の一部分の記録を開始するための指示を受信するように構成された論理手段であって、前記呼はデータバケットのデータストリームを含む論理手段と、

前記発信元ワイヤレス加入者デバイスから、前記呼の前記一部分の記録を停止するための指示を受信するように構成された論理手段であって、前記呼の一部分の記録を開始するための前記指示は、前記発信元ワイヤレス加入者デバイスによって、ターゲットワイヤレス加入者デバイスにおいて記録されるべき前記データストリームの各データバケットに挿入された記録マーカースを含み、前記呼の前記一部分の記録を停止するための前記指示は、前記呼の前記データバケットへの前記記録マーカースの挿入の中止を含む、論理手段とを備える装置。

【請求項 14】

請求項 1 ないし 11 のいずれか 1 項に記載の方法を通信エンティティに実行させるための少なくとも 1 つの命令を格納したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。